

令和7年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 第1回会議議案

北空知地域医療介護確保推進協議会

○設置目的

北空知1市4町（深川市、妹背牛町、秩父別町、北竜町及び沼田町）間で、平成28年3月18日に締結した「北空知における地域医療・介護の提供体制の確保と連携に関する協定書」に基づく広域事業の実施について協議するために、関係市町、深川保健所、深川医師会、深川市立病院、深川地区消防組合、介護サービス事業者等の関係機関・団体で構成する「北空知地域医療介護確保推進協議会」を設置する。

○協議事項

広域的に実施する次に掲げる地域医療・介護に係る連携推進事業について協議する。

- (1) 救急医療及び地域医療の確保と連携推進に関する事業
- (2) 在宅医療・介護の連携推進に関する事業
- (3) 認知症施策の連携推進に関する事業
- (4) 介護及び生活支援サービスの確保と連携推進に関する事業
- (5) その他地域医療及び介護サービスの確保と連携推進に関する事業

《令和6年度事業報告》

1. 開催計画

- ・協議会の定期開催は6月（今回は7月）を予定し、その他必要に応じて開催することとした。

2. 開催状況

○第1回会議 令和6年7月1日（月） 深川市立病院 2階 会議室
参加者 協議会委員11名

- ・協議・確認事項
 - (1) 令和5年度事業報告及び決算報告、令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について
 - (2) 休日・夜間救急医療体制確保事業の報告について
 - (3) 深川市立病院新改革プラン実施状況に関する点検・評価報告書について
 - (4) その他
- ※協議・確認事項は事務局提案どおり承認・了承され、議事終了後、情報・意見交換を行った。

3. 協議会構成員（令和5年4月～令和6年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
会 長	深川市長	田 中 昌 幸	
副会長	深川医師会会長	三木田 光	みきた整形外科クリニック院長
委 員	妹背牛町長	田 中 一 典	
	秩父別町長	澁 谷 信 人	
	北竜町長	佐々木 康 宏	
	沼田町長	横 山 茂	
	深川保健所長	福 島 亨	

	深川市立病院長	新 居 利 英	
	深川地区消防組合消防長	須 田 俊 之	
	社会福祉法人揺籃会理事長	永 倉 隆太郎	※1
	社会福祉法人北海道中央病院理事長	大 西 道 祥	※1
	北空知介護支援専門員連絡協議会会長	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川

※1の団体の代表の委員は2年任期（令和6年度～令和7年度）

《令和7年度事業計画》

1. 令和7年度事業計画

- ・協議会の定期開催は6月（又は7月）を予定し、その他必要に応じて開催する。

2. 協議会構成員（令和7年4月～令和8年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
会 長	深川市長	田 中 昌 幸	
副会長	深川医師会会長	三木田 光	みきた整形外科クリニック院長
委 員	妹背牛町長 ↓ 妹背牛町長職務代理者 副町長	田 中 一 典 ↓ 滝 本 昇 司	↓ R7. 6. 30から当分の間
	秩父別町長	澁 谷 信 人	
	北竜町長	佐々木 康 宏	
	沼田町長	横 山 茂	
	深川保健所長	斎 藤 泰 一	
	深川市立病院長	新 居 利 英	
	深川地区消防組合消防長	小 林 正 樹	
	社会福祉法人揺籃会理事長	永 倉 隆太郎	※1
	社会福祉法人北海道中央病院理事長	大 西 道 祥	※1
	北空知介護支援専門員連絡協議会会長	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川

※1の団体の代表の委員は2年任期（令和6年度～令和7年度）

北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議

○設置目的

協議会を円滑に運営するため、協議会の委員が所属する機関・団体の担当で構成する運営会議を設置する。

○協議内容

- (1) 協議会の検討課題と事業の調整
- (2) 救急医療体制の維持・確保
- (3) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (4) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- (5) 在宅医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (6) 地域リハビリテーション活動支援事業の企画立案と進行管理
- (7) 認知症対策事業の検討
- (8) 医療・福祉・介護人材の確保の検討
- (9) その他地域医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (10) 各市町地域包括支援センターとの連携調整
- (11) 協議会関係団体・組織との連絡調整
- (12) 専門部会の連絡調整

《令和6年度事業報告》

1. 令和6年度事業計画

- ・令和4年度に取りまとめた「協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案」に基づき、次の課題について重点的に協議することとする。
- ①在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
 - ・在宅医療・介護連携における施策課題を運営会議で整理し、次年度又は次期3年間で、将来に向けた事業・施策のあり方を検討していく。施策については、市町課長会議で検討する。
 - ・上記の検討をする中で、運営会議にはかる内容、課長会議、専門部会で協議する内容を整理。
- ②休日・夜間救急医療体制の維持・確保
 - ・開業医の高齢化や市立病院の厳しい医師確保から、対策を継続的・長期的に検討する。
 - ・救急あんしんカードのICT活用は、データ更新に課題があり、配布主体である市町と協議が必要。
- ③医療・福祉・介護人材の確保
 - ・具体的な人材確保については、今後もあらゆる面から継続的・長期的に検討していく
 - ・人材確保に対する実行性のある具体的対策は難しい面があるが、外国人雇用している事業所での就業状況の発信や、将来の担い手を育てるため児童・生徒等に向けた取り組みについて北海道介護福祉学校等との連携を検討する
- ④新型コロナウイルス感染症等への対応
 - ・新型コロナウイルス感染症及び他の感染症も含めた平時の対応について必要に応じて研修会等を開催する。

2. 関係会議等開催状況

○第1回正副座長・部会長等会議（Web）

令和 6年 5月 2日（木）～8（水）きたそらりんく利用会議

5月 8日（水）16:00～16:30 Zoom利用会議

出席者 11名（運営会議正副座長、専門部会正副部会長、運営会議事務局員等）

- ・人事異動等により役員等が交代したため、今年度の事業を始動させるにあたり、令和5年度事業報告・令和6年度事業計画（案）等についての内容等を確認し令和6年度の各会議体の構成、事業の年間スケジュールの調整、運営会議の重点協議事項について協議した。
- ・協議会本体会議の開催方法・場所について集合形式開催とすることを協議した。

○第1回運営会議（Web）

令和 6年 5月 28日（火）～31日（金）きたそらりんく利用会議

5月 31日（金）10:00～10:47 Zoom利用会議

出席者 運営会議委員 19名（運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長）

- ・協議・確認事項
 - （1）北空知地域医療介護確保推進協議会の議案について
 - ・令和5年度事業報告・決算、令和6年度事業計画（案）・予算（案）、事業報告説明資料
 - （2）休日・夜間救急医療体制確保事業の報告について
 - （3）北空知地域医療介護確保推進協議会の開催について
 - （4）その他

○第2回運営会議（Web）

令和 6年 10月 22日（火）～10月 28日（月）きたそらりんく利用会議

10月 28日（月）10:00～10:17 Zoom利用会議

出席者 運営会議委員 22名（運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長）

- ・協議・確認事項
 - （1）今年度事業の進捗状況と今後の進め方について
 - ・各専門部会・小部会、運営会議、事業見直しを行った結果に基づき設定した課題や計画についてそれぞれの活動状況と今後の事業運営について協議
 - （2）その他
 - ・協議会事業のR5～7の評価・検証と見直し作業をPDCAサイクルに基づき次年度実施予定
 - ・協議会事業に係る消費税非課税（リハビリテーション事業は課税）への是正措置による委託料減を踏まえた対応と事業の見直しの協議が必要

○第1回地域医療・介護連携推進事業担当課長会議

令和6年 10月 28日（月）10:18～10:37 Zoom利用会議

出席者 9名（1市4町担当課長等）

- ・協議・確認事項
 - （1）令和7年度北空知地域医療・介護連携支援センター事業委託料（案）について
 - （2）令和7年度北空知地域リハビリテーション事業委託料（案）について
 - （3）その他

※各市町の次年度予算に要求する協議会事業の委託料（案）を協議し議案のとおり了承を得た。

○第2回正副座長・部会長等会議

令和7年 3月 7日（金）～11日（火）きたそらりんく利用会議

3月 11日（火）15:00～15:18 Zoom利用会議

出席者 名（運営会議正副座長、専門部会正副部会長、運営会議事務局員）

- （1）今年度事業のまとめと次年度の取組について

(2) 自治体包括連携協定について

(3) 令和7年度北空知看護研修会・多職種研修会企画(案)について

・令和6年度に合同開催(Ⅰ部会:入退院支援研修会、Ⅱ部会ケア・カフェ)とした研修会を、単年度企画ではなく、次年度以降も引き続き研修・意見交換を実施し、北空知地域に定着する取組となるようにしていくことを目的に北空知看護研修会から再度打診があったもの。専門部会で協議し概ね了承することとしているので、今後詳細を担当部会で詰めていく。

(4) その他

○第3回運営会議(Web)

令和7年 3月21日(金)～26日(水) きたそらりんく利用会議

3月26日(水) 10:00～10:34 Zoom利用会議

出席者24名(運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長)

・協議・確認事項

(1) 今年度事業のまとめと次年度の取組について

・各専門部会・小部会、運営会議における今年度の取り組みの総括と次年度計画案について協議。

(2) 次年度の始動スケジュールについて

・各会議体委員に人事異動等による変更がある場合の連絡を依頼。

・次年度の協議開始時期及び、令和7年度の本体協議会及び運営会議の日程について協議。

3. 事業の進捗状況

①在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- ・在宅医療・介護連携における施策課題を運営会議で整理し、次年度又は次期3年間で、将来に向けた事業・施策のあり方を検討していく。施策については、市町課長会議で検討する。
- ・上記の検討をする中で、運営会議にはかる内容、課長会議、専門部会で協議する内容を整理。
⇒ 具体的な課題の検討には至らなかったが、適宜、運営会議や市町関係課長会議、専門部会を開催し課題の共有を行った。

②休日・夜間救急医療体制の維持・確保

- ・開業医の高齢化や市立病院の厳しい医師確保から、対策を継続的・長期的に検討する。
- ・救急あんしんカードのICT活用は、データ更新に課題があり、配布主体である市町と協議が必要。
⇒ ICT活用に関しては、きたそらりんく(株)帝人ファーマ:製品名バイタルリンク)を市町とともに管理者として運用し、患者・利用者の情報交換ツールとして利用している。また、介護事業所データと患者カルテデータの双方向情報共有ツールの開発業者(株)コアからプレゼンテーションを受け、新システムへの移行も視野に入れ開発協力を行うこととしている。

③医療・福祉・介護人材の確保

- ・具体的な人材確保については、今後もあらゆる面から継続的・長期的に検討していく。
- ・人材確保に対する実行性のある具体的な対策は難しい面があるが、外国人雇用している事業所での就業状況の発信や、将来の担い手を育てるため児童・生徒等に向けた取り組みを検討する
⇒ 北海道介護福祉学校生徒の教育課程に連動した特別講義や出前講座を、人材確保の取り組みの一環として実施するにあたり、自治体と締結する「自治体包括連携協定」について同校から深川市において説明を受け、今後、広域事業として展開できるよう当該協定締結の意義について管内市町に周知していくこととした。

④新型コロナウイルス感染症への対応

- ・今後の5類移行へ向け他の感染症も含めた平時の対応について研修会を開催する。
⇒ 本年度は研修会等の開催はなかったが、今後も要望や必要があり次第開催していく。

4. 運営会議構成員（令和6年4月～令和7年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川市高齢者支援課長	北 垣 千 絵	
副座長	深川保健所次長	平 井 直 子	
委 員	深川医師会事務長	吉 田 博 昭	
	深川市立病院事務部長	高 田 光 徳	
	社会福祉法人揺籃会理事	造 田 裕 普	※1 揺籃会法人本部
	社会福祉法人北海道中央病院理事	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	高 橋 ゆ み	※1 アニスティ深川
	深川地区消防組合深川消防署救急課長	山 崎 達 也	
	妹背牛町住民課長	石 井 昌 宏	
	妹背牛町健康福祉課長	愛 山 智 弘	
	秩父別町住民課長	塩 地 勇 夫	
	北竜町住民課長	細 川 直 洋	
	沼田町保健福祉課長	按 田 義 輝	
	深川市健康・子ども課長	小 川 雅 嗣	

※1の団体の代表の委員は2年任期（令和6年度～令和7年度）

《事務局体制》

	所属団体・役職等	氏 名	備 考
北空知地域 医療介護連携 支援センター	深川市立病院地域連携室室長	立 花 洋 子	副センター長
	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	事務局長
	深川市立病院地域連携室副室長	藤 原 智 美	事務局員
	深川市立病院地域連携室地域連携係長	尾 中 康 晴	事務局員
市町行政部局	深川市高齢者支援課主幹	西 村 美 幸	※1
	深川市高齢者支援課相談サービス係長	小鍛冶 真由美	※1
	深川市健康・子ども課健康推進係主査 ↓	竹 内 豪 志 ↓	※1
	深川市健康・子ども課課長補佐	野 坂 久美子	R6. 10選任

※1の事務局員は深川市（座長）から選出する（令和5年度～令和7年度）

《令和7年度事業計画》

1. 令和7年度事業計画

- ・令和4年度に取りまとめた「協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案」に基づき、次の課題について重点的に協議することとする。
- ①在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
 - ・在宅医療・介護連携における施策課題を運営会議で整理し、次年度又は次期3年間で、将来に向けた事業・施策のあり方を検討していく。施策については、市町課長会議で検討する。
 - ・上記の検討をする中で、運営会議にはかる内容、課長会議、専門部会で協議する内容を整理。
- ②休日・夜間救急医療体制の維持・確保
 - ・開業医の高齢化や市立病院の厳しい医師確保から、対策を継続的・長期的に検討する。
 - ・救急あんしんカードの ICT 活用は、データ更新に課題があり、配布主体である市町と協議が必要。
- ③医療・福祉・介護人材の確保
 - ・具体的な人材確保については、今後もあらゆる面から継続的・長期的に検討していく
 - ・北海道介護福祉学校との「自治体包括連携協定」について、今後、広域事業として展開できるよう当該協定締結の意義について管内市町に周知していく

④新型コロナウイルス感染症等への対応

- ・新型コロナウイルス感染症及び他の感染症も含めた平時の対応について必要に応じて研修会等を開催する。

⑤協議会事業の全体評価

- ・運営会議において、PDCAサイクルの考え方に基づき、また、令和元年度「協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案」を踏まえた、協議会設立後第4期目となる3年間（令和7年度～令和7年度）の協議会事業全体の進捗状況を確認し、その成果と課題を整理し、今後の課題への対応策を検討する。

⑥協議会運営体制の評価・見直し

- ・上記と併せ、部会の設置期間（令和5年度～7年度）の3年目にあたるため、体制の見直しと部会長等の役員、構成員の再編等について検討する。

2. 運営会議構成員（令和7年4月～令和8年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川市高齢者支援課長	北 垣 千 絵	
副座長	深川保健所次長	平 井 直 子	
委 員	深川医師会事務長	吉 田 博 昭	
	深川市立病院事務部長	宮 崎 雅 晴	
	社会福祉法人揺籃会理事	造 田 裕 普	※1 揺籃会法人本部
	社会福祉法人北海道中央病院理事	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	高 橋 ゆ み	※1 アニスティ深川
	深川地区消防組合深川消防署救急課長	清 水 計 行	
	妹背牛町住民課長	石 井 昌 宏	
	妹背牛町健康福祉課長	愛 山 智 弘	
	秩父別町住民課長	塩 地 勇 夫	
	北竜町こども・くらし応援課長	續 木 敬 子	
	沼田町保健福祉課長	荒 川 幸 太	
	深川市健康・子ども課長	安 井 仁	

※1の団体の代表の委員は2年任期（令和6年度～令和7年度）

《事務局体制》

	所属団体・役職等	氏 名	備 考
北空知地域 医療介護連携 支援センター	深川市立病院地域連携室室長	立 花 洋 子	副センター長
	深川市立病院管理課長兼地域連携室主幹	村 田 真 紀	事務局長
	深川市立病院地域連携室副室長	藤 原 智 美	事務局員
	深川市立病院地域連携室地域連携係長	尾 中 康 晴	事務局員
市町行政部局	深川市高齢者支援課課長補佐	小鍛冶 真由美	※1
	深川市高齢者支援課相談サービス係長	鎌 塚 聡 子	※1
	深川市健康・子ども課課長補佐	関 根 美 樹	※1

※1の事務局員は深川市（座長）から選出する（令和5年度～令和7年度）

3. 年間スケジュール

年月日	項 目	内 容
5 月 日	正副座長・部会長等 会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和7年度事業計画の協議・ 調整（事業の実施時期調整）
6 月 日	第1回運営会議	令和7年度協議会議案の協議 協議会事業の進捗状況の確認、成果と課題の協議ほか
6（7）月 日	第1回協議会	令和6年度事業報告・決算報告、 令和7年度事業計画（案）・予算（案）の協議ほか
月 日	第2回運営会議	協議会事業の進捗状況の確認、成果と課題の協議 協議会体制の検討・協議
月 日	第3回運営会議	協議会事業の進捗状況の確認、成果と課題の協議 協議会体制の検討・協議
月 日	第4回運営会議	重点課題の協議ほか 令和7年度事業のまとめと令和8年度の取組の協議

※必要に応じて「正副座長・部会長等会議」を開催し事業の進捗等を調整する。

I 医療介護相談・在宅生活支援部会

○医療介護相談・在宅生活支援部会の担当

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①切れ目なく在宅医療と在宅介護を提供するための体制づくりの検討

- 急変時診療体制の検討 ○夜間・休日診療体制の検討
- 在宅での支援体制の検討 ○認知症施策の検討

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

- ①「北空知地域医療介護連携支援センター」の設置と運営
- ②医療・介護関係者、地域包括支援センターからの医療・介護連携に関する相談の受付・対応
(地域住民からの相談も直接受け付け、地域包括支援センターと連携調整する。)
- ③退院の際の医療及び介護関係者との連携調整と相互の紹介、他圏域病院との連携調整
- ④訪問看護等在宅サービスとの連携調整
- ⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

《令和6年度事業報告》

1. 令和6年度事業計画

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催

(参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討)

(意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討)

(連携が可能な場合は部会・小部会をまたいだ合同研修会の開催を検討する)

②認知症初期集中支援事業など認知症ケアの向上と認知症施策の検討

(認知症初期集中支援事業の支援の流れや他職種連携の見直し、広域的なスキルアップの取り組み)

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進・活用状況の把握と改善

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

- ①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知
- ②相談コーディネイト業務の充実
- ③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席(共通課題の抽出)
- ④訪問看護等在宅サービスとの連携調整
- ⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

2. 関係会議等開催状況

○これまでの経過(感染対策、利便性)から専門部会・小部会は、基本的にオンライン開催とし、協議内容や感染対策状況に応じて集合形式も検討し開催。

○第1回部会(W e b)

令和6年 6月24日(月)～27日(木) きたそらりんく利用会議

6月27日(木) 17:30～17:43 Z o o m利用会議

出席者19名(部会委員、事務局員)

・協議・確認事項

- (1) 令和5年度事業報告(進捗状況)の確認について
- (2) 令和6年度の事業計画及び年間スケジュールについて

(3) 小部会・会議の構成(案)について

(4) 今後の予定

※今年度の部会メンバーを確認し、協議・確認事項を協議。令和4年度に見直しを行った結果、今年度も「医療介護相談支援小部会」「在宅生活支援小部会」の2小部会を設置し事業に取り組むこととなり、部会終了後、各小部会に分かれ第1回会議を開催した。

○第2回部会 (Web)

令和7年 3月 6日(木)～10日(月) きたそらりんく利用会議

10日(月) 17:30～17:41 Zoom利用会議

出席者19名(部会委員、事務局員)

・協議・確認事項

(1) 令和6年度事業の振り返り・評価について

(2) 令和7年度の事業計画及び年間スケジュールについて

○第1回医療介護相談支援小部会 (Web)

令和6年 6月24日(月)～27日(木) きたそらりんく利用会議

6月27日(木) 部会終了後17:46～18:13 Zoom利用会議

出席者9名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

(1) 令和6年度の活動について

・入退院支援研修会は年1回、秋頃を目指し開催。基本は集合形式で状況に応じてオンラインに切り替える準備もしておく

・テーマは過去の開催経過を踏まえ検討

・北空知地域入退院支援・調整ルールの周知と利用状況の把握・評価の方法は調査対象や調査項目などの具体的な内容は次回以降に検討する

などを協議した。

(2) 今後のスケジュール

・今後の年間スケジュールと、小部会の開催方法や時間は、委員意見を踏まえ実施することを協議した。

○第2回医療介護相談支援小部会 (Web)

令和6年11月 8日(金)～12日(火) きたそらりんく利用会議

11月12日(火) 17:30～18:07 Zoom利用会議

出席者8名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

(1) 入退院支援研修会(北空知看護研修会)実施結果について

・入退院支援研修会は開催結果・評価のとおりとし議事録送付時に委員に確認する(概ね○の評価)

・入退院支援ルールの見直しについては今回行わない。様式を使うことが目的ではなく、口頭でも情報連携はできてきており以前のような連携不足の状況は解消されてきている

・今後の研修会については、参加者が減少してきている理由として地域の課題や現場職員の困っていることと開催目的などがずれてきている。今後アンケートをとるなどして課題整理していく

○第3回医療介護相談支援小部会 (Web)

令和7年 3月 6日(木)～10日(月) きたそらりんく利用会議

3月10日(月) 親部会終了後17:41～18:10 Zoom利用会議

出席者10名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

- (1) 入退院支援研修会（北空知看護研修会）実施結果について（再掲）
- ・前回小部会で未記載となっていた「5 評価達成度について」を追記し開催結果・評価として完成させた内容を確認した
- (2) 次回研修会の内容について
- ・今年度の研修会は特にケアマの参加が少なかったことが課題。次回はACPがテーマで多職種が関与するが介護の重要性を強調した周知が必要
 - ・北空知看護研修会から再度次年度の合同開催の打診があったものについて協議。合同開催について了承することとし、詳細については次年度改めて協議することとした
 - ・意思決定支援や地域での普及方法についてや、施設職員の研修に参加奨励による連携が強化
 - ・次年度以降も継続的に施設と病院の連携を強化するための協議を続け、一度に解決はできないため継続的にかつ優先順位をつけてこの小部会で取り組んでいってはどうかなどを協議した。

○第1回在宅生活支援小部会（Web）

令和6年 6月24日（月）～27日（木）きたそらりんく利用会議

6月27日（木）部会終了後17：48～18：30 Zoom利用会議

出席者9名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

(1) 令和6年度の活動について

- ・きたそらりんく運用ルールの一定期間後の検証は、あまり浸透していないと思われることから検討時期として適切かどうかという課題があること、きたそらりんくの利用が進んでいないのであれば、新システムとの入れ替えも含めた検討を並行していく
- ・認知症スキルアップ研修会の結果などを踏まえた取り組みは、認知症スキルアップ研修会の継続実施を基本に、具体的内容や方法は次回の小部会まで各委員意見を集約し協議していく
- ・北空知成年後見相談センター協議会委員のきたそらりんく利用について、会議室としての利用可否の委員意見を確認した

○第2回在宅生活支援小部会（Web）

令和6年 9月27日（金）～10月2日（水）きたそらりんく利用会議

10月 2日（水）17：30～17：58 Zoom利用会議

出席者9名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

(1) 令和6年度の活動について

- ・認知症研修会は継続実施することとし、医師会の暮らしの公開医学講座などを利用し認知症に関する専門医等からの講話、その後の意見交換（事例検討など）を行ってはいかがか
- ・R6. 12～R7. 1を目途に講師都合などを勘案し開催
- ・時間帯は18時開始を基本に実施
- ・参集範囲はケア・カフェなどで案内している管内医療・介護事業所。施設職員だけでなく在宅サービスに関係する職員も参加して欲しい。また、認知症地域支援推進員も加える

○第3回在宅生活支援小部会（Web）

令和6年12月 2日（月）～10月 4日（水）きたそらりんく利用会議

12月 4日（水）17：30～18：15 Zoom利用会議

出席者12名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

(1) 認知症研修会の開催内容について

- ・1月を目途にハイブリッド形式で実施。1時間半を予定
- ・内容は医師講話と申込時に事前取りまとめた困難事例等をグループワーク形式で相談・検討

し、最後に全体共有する

- ・案内・申込用紙・アンケートなどは本日の意見を踏まえ修正しメール会議にて確認をいただく
- ・申込取りまとめ後に再度小部会を開催し、役割分担等を協議。研修会後に評価等のため再度開催

(2) その他

- ・深川保健所が所管する難病専門部会から小部会での意見反映などのための協力要請あり

○第4回在宅生活支援小部会 (Web)

令和7年 1月22日(水)～1月24日(金) きたそらりんく利用会議

1月24日(金) 17:30～17:53 Zoom利用会議

出席者12名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

(1) 認知症研修会の開催内容について

- ・当日資料の内容は事前配布に修正なしとし、アンケートはWEBと現地配布の両方とした
- ・役割分担は「認知症研修会 タイムスケジュール・役割分担」のとおり決定
- ・当日委員集合は17時以降。業務の都合等で間に合わない場合は18時までに集合
- ・受付開始(ZOOM開始)は17:30～
- ・研修会終了後に研修会の評価と親部会・運営会議へ事業報告のため2～3月にあと1回小部会を行う予定

○第5回在宅生活支援小部会 (Web)

令和7年 3月 6日(木)～10日(月) きたそらりんく利用会議

10日(月) 部会終了後17:42～18:11 Zoom利用会議

出席者10名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

(1) 認知症スキルアップ研修会の開催結果・評価について

- ・評価に関しては概ね良好だったが、時間配分やスライド上映の準備を入念にする事、またハイブリッド開催における音声出力の方法など課題が残った
- ・保健所管轄の北空知圏域難病対策地域協議会で協議している内容を当小部会でも情報共有できるよう今後の協力について保健所委員から依頼があった

(2) 本年度事業の実績及び次年度計画について

などを協議した。

○北空知地域入退院支援研修会オンライン開催

令和6年9月26日(木) 18:00～19:30

出席者103名(看護師43名、准看護師2名、助産師2名、保健師20名、保健師学生2名、薬剤師3名、理学療法士1名、介護支援専門員12名、介護福祉士・介護員1名、社会福祉士8名、管理栄養士1名、公認心理師、臨床心理士1名、ホームヘルパー2名、事務職1名、不明5名)

・研修内容

(1) 講演

テーマ 「チームで支える在宅ケア～みんなが一步前へ！」

講師 北海道総合ケア事業団稚内訪問看護ステーション古川典子所長(訪問看護認定看護師)

(2) 実践報告

①精神障がいを持つ方の訪問看護事例

報告者：訪問看護ステーションいしずえ深川 正田 健 所長

②人工呼吸器を装着しながら在宅療養を続ける(ALS)患者

報告者：保健所保健師および訪問看護師

(3) 意見交換・質疑応答

※全体をととして、参加者は講演内容や事例報告を通じて、意思決定支援に携わる職種として共感をもって理解を深めたことが伺えた。支援する側が良かれと思うのではなく本人家族の意向を踏まえた

○認知症研修会開催

令和7年 2月 4日(火) 18:00～19:30

出席者51名(医師1名、歯科医師1名、薬剤師1名、看護師17名、認知症認定看護師1名、保健師8名、介護支援専門員5名、介護職3名、ヘルパー2名、社会福祉士2名、MSW1名、主任生活相談員1名、施設管理者4名、行政職4名)

・研修内容

(1) 講演「一地域でその人らしく生活するために」

講師 深川市立病院 脳神経外科 医師 代田 剛(30分)

(2) 質疑応答(10分)

(3) 認知症に関わる困難事例意見交換会(25分)

- ・事例は参加者から申込時に事前集約(職場等に対応した・している事例を1人1例以上持ち寄る)
- ・代田医師の講話から得た情報や、認知症認定看護師からのアドバイスをもとに、グループの中で相談し合う

(4) 全体共有(20分)

(5) アンケート記入

- ・認知症ケアに関わる取り組みについて医師や専門職から学び、認知症ケアに関わる関係者が日頃の困難事例への対応について広く情報共有し検討する機会とした
- ・アンケートからは、「抱えているケースのHP 関係者と事例を共有できた」「具体的な対応方法を聞けて参考になった」「専門医からの講話が聞けて良かった」など研修が有意義であったという意見があり、研修会の目的は達成されたものと思われる。

3. 事業の進捗状況

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催

(参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討)

(意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討)

⇒ 9月に北空知看護研修会と合同でWEB開催した北空知入退院支援研修会は、稚内訪問看護ステーション所長からの実践報告や、精神障害を持つ患者の訪問看護事例、難病患者の在宅療養を支える事例報告があり、合計103名の参加があった。

②認知症初期集中支援事業など認知症ケアの向上と認知症施策の検討

(認知症初期集中支援事業の支援の流れや他職種連携の見直し、広域的なスキルアップの取り組み)

⇒ 令和5年度に行った関係者のスキルアップ研修会から、今年度はハイブリッド形式で参加案内先を拡大し一般の事業所からも参加可能なものとし、深川市立病院 脳神経外科 代田剛医師を講師に迎え「一地域で、その人らしく生活するために」と題した講演を行い、質疑応答を経てグループワークで参加者がそれぞれ持ち寄った普段の業務で対応している事例を相談しあった。また、認知症認定看護師がグループを回り助言を行った。

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進・活用状況の把握と改善

⇒ 令和2年から運用を開始した「きたそらりんく」の利用登録促進と、患者・サービス利用者に対する多職種支援、情報共有や会議など多様な利活用に継続して取り組んだ。

令和4年度に具体的な運用ルールを定め、一定期間運用後、検証をすることとしているが、システム利用が一部関係事業所等にとどまっていたあまり浸透していないと思われることから、検討時期として適切かどうかという課題があること、利用が進んでいないのであれば、新システムとの入れ替えも含めた検討を並行していくこととしている。

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知

- ⇒ 市立病院地域連携室内に、下記「令和6年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制」のとおり組織を設置し運営にあたった。
- ⇒ ホームページ、きたそらりんく、パンフレットなどで周知するとともに、各市町の地域包括支援センター、各事業所等を通じて周知に努めた。

②相談コーディネート業務の充実

- ⇒ 感染対策拡大防止を継続しつつ、北空知地域内外の各種研修会や会議にオンライン参加や現地参加するなどし、関係者との連携を図り相談業務充実に努めた。

③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席（共通課題の抽出）

- ⇒ 地域ケア会議は、深川市（月2回）、妹背牛町（月1回）、秩父別町（2か月に1回）、北竜町（月1回）、沼田町（不定期）に出席し、関係市町及び事業所等との連携構築に努め、また共通課題の抽出の情報収集に努めた。

④訪問看護等在宅サービスとの連携調整

- ⇒ 入退院支援業務や相談業務を通じて関係者との連携・調整に努めた。

⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

- ⇒ 関係市町への認知症サポート医及び看護職の派遣・調整を行った。

- ・令和6年度の実施件数0件

平成29年度5件（深川市4件、北竜町1件）、うち市立病院看護師派遣1件（北竜町）
 平成30年度4件（深川市）、令和元年度2件（深川市）、令和2年度2件（深川市）
 令和3年度2件（深川市）、令和4年度1件（深川市）、令和5年度0件、令和6年度0件（相談対応2件（深川市））

4. 部会構成員（令和6年4月～令和7年3月）23名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	沼田町保健福祉課主幹	森 田 秀 幸	医療介護相談支援小部会長
副部会長	深川保健所企画総務課企画主幹	福 島 隆 一	在宅生活支援小部会長
副小部会長	深川市高齢者支援課相談サービス係長	小鍛冶 真由美	医療介護相談支援小部会
	深川市健康・子ども課健康推進係主査	竹 内 豪 志	在宅生活支援小部会
	↓ 深川市健康・子ども課課長補佐	↓ 野 坂 久美子	↓ R6. 10選任
委 員	北空知歯科医会副会長	中 神 宏 司	中神歯科医院 院長
	深川医師会	(欠 員)	
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	工 藤 博 之	なの花薬局
	北空知地域看護連携推進会議	工 藤 恵 子	訪問看護ステーション みんソラ
	北空知介護支援専門員連絡協議会	高 橋 都	ライフマップ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会	団体内持ち回り ↓ 望 月 み さ	↓ R6. 12選任 沼田町役場
	深川地区消防組合深川消防署救急課救急救助係長	後 藤 康 之	
	深川保健所企画総務課主査（保健推進）	三 井 浩 明	
	北空知区域内介護事業所（深川市）	石 橋 知 華	デイサービスみんカフェ
	妹背牛町健康福祉課主査	野 本 里 恵	
	北空知区域内介護事業所（妹背牛町）	山 崎 雄 大	居宅りぶれ
	秩父別町住民課介護相談係長	池 田 有里恵	
	秩父別町住民課健康推進係	松 原 舞 姫	
	北空知区域内介護事業所（北竜町）	倉 谷 亮 子	北竜町永楽園
	北竜町住民課介護予防係長	内 田 奈保子	
	沼田町保健福祉課主査	山 下 広 大	

事務局員	深川市立病院地域連携室副室長	藤 原 智 美	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	佐 藤 恵 里	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任 ↓	井 川 郁 実 ↓	↓ R 7. 1 選任
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	前 川 凡 子	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	廣 瀬 詩 織	
	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	

※部会の設置期間（令和5年度～7年度）

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【医療介護相談支援小部会】

森田（小部会長）、小鍛冶（副小部会長）、中神、工藤、石橋、高橋都、三井、野本、池田、倉谷、藤原、廣瀬、村田（13名）

【在宅生活支援小部会】

福島（小部会長）、竹内（副小部会長）⇒野坂、工藤、ケアマネ連協⇒望月、後藤、山崎、松原、内田、山下、佐藤、井川⇒前川、村田（12名）

令和6年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制

役 職	所属団体・役職	氏 名	担 当
センター長	深川市立病院院長	新 居 利 英	センター業務統括
センター長代理	深川市立病院事務部長	高 田 光 徳	センター長の職務代理
副センター長	深川市立病院地域連携室長	立 花 洋 子	運営会議 多職種連携・地域啓発部会
事務局長	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	運営会議及び専門部会の運営調整、 地域リハビリテーション活動支援事業等 の進行調整
事務局次長	深川市立病院地域連携室副室長	藤 原 智 美	運営会議 医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室副室長	赤 松 充 敏	多職種連携・地域啓発部会 地域リハビリテーション活動支援事業
事務局員	深川市立病院地域連携室 地域連携係長	尾 中 康 晴	運営会議 多職種連携・地域啓発部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	佐 藤 恵 里	医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任 ↓	井 川 郁 実 ↓	医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	前 川 凡 子	
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	廣 瀬 詩 織	医療介護相談・在宅生活支援部会

《令和7年度事業計画》

1. 令和7年度事業計画

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ①医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催
(参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討)
(意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討)
(連携が可能な場合は部会・小部会をまたいだ合同研修会の開催を検討する)
- ②認知症初期集中支援事業など認知症ケアの向上と認知症施策の検討
(認知症初期集中支援事業の支援の流れや他職種連携の見直し、広域的なスキルアップの取り組み)

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- ①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進・活用状況の把握と改善

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

- ①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知
- ②相談コーディネート業務の充実
- ③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席（共通課題の抽出）
- ④訪問看護等在宅サービスとの連携調整
- ⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

2. 部会構成員（令和7年4月～令和8年3月）23名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	沼田町保健福祉課主幹	高 橋 直 幸	医療介護相談支援小部会長
副部会長	深川保健所企画総務課企画主幹	黒 瀧 仁 司	在宅生活支援小部会長
副小部会長	深川市高齢者支援課相談サービス係長	鎌 塚 聡 子	医療介護相談支援小部会
	深川市健康・子ども課課長補佐	関 根 美 樹	在宅生活支援小部会
委 員	北空知歯科医会副会長	中 神 宏 司	中神歯科医院 院長
	深川医師会	(欠 員)	
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	工 藤 博 之	なの花薬局
	北空知地域看護連携推進会議	工 藤 恵 子	訪問看護ステーション みんソラ
	北空知介護支援専門員連絡協議会	高 橋 都	ライフマップ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会	団体内持ち回り	
	深川地区消防組合深川消防署救急課救急救助係長	後 藤 康 之	
	深川保健所企画総務課主査（保健推進）	六 田 一 典	
	北空知区域内介護事業所（深川市）	石 橋 知 華	デイサービスみんカフェ
	妹背牛町健康福祉課主査	渡 邊 みゆき	
	北空知区域内介護事業所（妹背牛町）	山 崎 雄 大	居宅りぶれ
	秩父別町住民課介護相談係長	池 田 有里恵	
	秩父別町住民課健康推進係	松 原 舞 姫	
	北空知区域内介護事業所（北竜町）	倉 谷 亮 子	北竜町永楽園
	北竜町こども・くらし応援課高齢者支援係長	内 田 奈保子	
	沼田町保健福祉課主査	望 月 み さ	
事務局員	深川市立病院地域連携室副室長	藤 原 智 美	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	前 川 凡 子	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	佐 藤 恵 里	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	廣 瀬 詩 織	

※部会の設置期間（令和5年度～7年度）

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【医療介護相談支援小部会】

高橋（小部会長）、鎌塚（副小部会長）、中神、工藤、高橋都、六田、石橋、渡邊、池田、倉谷、
藤原、廣瀬（12名）

【在宅生活支援小部会】

黒瀧（小部会長）、関根（副小部会長）、工藤、望月、後藤、山崎、松原、内田、ケアマネ連協、
前川、佐藤（11名）

令和7年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制

役 職	所属団体・役職	氏 名	担 当
センター長	深川市立病院院長	新 居 利 英	センター業務統括
センター長代理	深川市立病院事務部長	宮 崎 雅 晴	センター長の職務代理
副センター長	深川市立病院地域連携室長	立 花 洋 子	運営会議 多職種連携・地域啓発部会
事務局長	深川市立病院管理課長 兼地域連携室主幹	村 田 真 紀	運営会議及び専門部会の運営調整
事務局次長	深川市立病院地域連携室副室長	藤 原 智 美	運営会議 医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室主幹	赤 松 充 敏	多職種連携・地域啓発部会 地域リハビリテーション活動支援事業 実施及び進行調整
事務局員	深川市立病院地域連携室 地域連携係長	尾 中 康 晴	運営会議 多職種連携・地域啓発部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	前 川 凡 子	医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	佐 藤 恵 里	医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	廣 瀬 詩 織	医療介護相談・在宅生活支援部会

3. 年間スケジュール

年月日	項 目	内 容
5 月 日	正副座長・部会長等会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和7年度事業計画の協議・調整（事業の実施時期調整）
6 月 日	第1回運営会議	部会長→部会の議案説明
6（7）月 日	第1回協議会議	部会の議案説明

（医療介護相談・在宅生活支援部会）

年月日	項 目	内 容
6 月 日	第1回部会	令和7年度事業計画及び運営体制（小部会）の協議
2 月 日	第2回部会	令和7年度事業のまとめと次年度の取組の協議

（医療介護相談支援小部会）

年月日	項 目	内 容
月 日	第1回小部会	入退院支援研修会の企画ほか

		第1回入退院支援研修会の開催協議
月 日	第2回小部会	第1回多職種合同研修会（北空知看護研修会と合同開催）の開催準備協議
月 日	第1回入退院支援研修会	テーマ「地域で考えるACP（仮）」
月 日	第3回小部会	第1回研修会の振り返り・評価 アンケート結果とりまとめ
12月 日	第4回小部会	研修会とアンケート結果を踏まえた対応協議 今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

（在宅生活支援小部会）

年月日	項 目	内 容
月 日	第1回小部会	きたそらりんく運用ルールの検証、その他情報共有ツールの検討 認知症研修会アンケート結果を踏まえた認知症施策ほか在宅生活支援施策の協議
月 日	第2回小部会	上記協議により開催
月 日	第3回小部会	同上
月 日	第4回小部会	同上
1月まで終了	第5回小部会	認知症施策ほか在宅生活支援施策の取りまとめ 今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

Ⅱ 多職種連携・地域啓発部会

○多職種連携・地域啓発部会の担当

(1) 地域の医療・介護の資源の把握と情報提供

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報収集と整理
- ②地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドの作成とホームページ等での公開
- ③医療・介護関係者との情報の共有と活用、地域住民に対する情報提供

(2) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の開催
 - ・関係団体の研修事業等との連携と活用による研修会の企画立案
 - ・各市町地域ケア会議等の活用による研修会の検討と実施
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進

(3) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
 - ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
 - ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

《令和6年度事業報告》

1. 令和6年度事業計画

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実
- ②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討
(ホームページを閲覧できない高齢者等への訴求力のある媒体の検討)
- ③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討

(2) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の開催の企画と運営
(参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討)
(意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討)
(連携が可能な場合は部会・小部会をまたいだ合同研修会の開催を検討する)
 - ・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討
 - ・協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進
 - ・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整・充実(派遣場所・職種拡大)
 - ・事業者向け研修会等の実施による普及推進
 - ・各市町地域ケア会議での成果と課題の共有、対応等の検討

(3) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
 - ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施

- ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待・成年後見制度など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

2. 関係会議等開催状況

○これまでの経過（感染対策、利便性）から専門部会・小部会は、基本的にオンライン開催とし、協議内容や感染対策状況に応じて集合形式も検討し開催。

○第1回部会（We b）

令和6年 6月28日（金）～7月4日（木）きたそらりんく利用会議
7月 4日（木）17:00～17:17 Zoom利用会議
出席者19名（部会委員、事務局員）

・協議・確認事項

- （1）令和5年度事業報告（進捗状況）の確認について
- （2）令和6年度の事業計画及び年間スケジュールについて
- （3）小部会・会議の構成（案）について
- （4）今後の予定

※今年度の部会メンバーを確認し、協議・確認事項を協議。部会終了後、各小部会に分かれ第1回会議を開催した。

○第2回部会（We b）

令和7年 3月 3日（月）～ 6日（木）きたそらりんく利用会議
6日（木）17:00～17:19 Zoom利用会議
出席者18名（部会委員、事務局員）

・協議・確認事項

- （1）令和6年度事業報告の確認について
- （2）令和7年度事業計画及び年間スケジュールについて
 - 1）部会全体の計画
 - 2）令和7年度北空知看護研修会・多職種研修会企画（案）について
- （3）今後の予定（新年度）

○第1回多職種連携研修小部会（We b）

令和6年 6月28日（金）～7月4日（木）きたそらりんく利用会議
7月 4日（木）部会終了後17:19～17:45 Zoom利用会議
出席者7名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

- （1）本年度の取り組みについて
 - ・ケア・カフェの1回目は研修会部分を北空知看護研修会と合同開催とし、そこでの話題をテーマに2回目のケア・カフェを開催することとし、開催時期は10月中旬で調整
 - ・周知・結果評価等を検討するため小部会は周知前・研修会後とケア・カフェの間、ケア・カフェ終了後に実施
 - ・看護研修会が主催なので小部会委員の手伝い等は不要
- （2）R5度事業の実績及びR6年度計画
 - ・内容は前段に開催した親部会と同様
- （3）今後の予定について
 - ・小部会の開催時間は前年同様17時開催とすることとした

○第2回多職種連携研修小部会（We b）

令和6年 8月26日（金）～8月28日（水）きたそらりんく利用会議
8月28日（水）17:00～17:42 Zoom利用会議

出席者 8 名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（１）北空知看護研修会を踏まえたケア・カフェの実施内容について

- ・開催日は 10 / 10（木）時間 1 時間（18：00～19：10）オンライン開催
- ・テーマは「在宅での生活の支え方を考える」
- ・役割分担を決定
- ・総合司会を兼ね三井委員から北空知看護研修会の結果を報告する
- ・申込は GOOGLE フォーム・メール・fax。終了後、申込方法を評価する
- ・ケア・カフェ当日の進行を総合司会等と事務局で事前に確認する
- ・次回小部会はケア・カフェと住民フォーラム終了後で 11 / 10 以降に実施などを協議した

○第 3 回多職種連携研修小部会（Web）

令和 6 年 11 月 8 日（金）～11 月 13 日（水）きたそらりんく利用会議

11 月 13 日（水）17：00～18：04 Zoom 利用会議

出席者 8 名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（１）第 1 回研修会の振り返り・評価について

- ・研修会のまとめ・評価は、内容として「○」6 個、「△」4 個の評価であった
- ・在宅ケアをテーマとした本企画は、地域の課題に即しており、意思決定支援について事例を通じて考える良い機会となった。Zoom 開催により参加しやすい環境を提供できた一方で、グループワークの時間配分や参加者の固定化という課題も残ったものの、参加者の満足度は高く、身近なテーマ設定が活発な意見交換につながったと思われる
- ・今後については、より幅広い職種や若手参加者の獲得が今後の課題として挙げられ、周知方法や開催方法（各種会議での発言、合同開催を含めた他研修とのテーマ共有、ハイブリッド等）について検討していくことが必要

（２）その他

- ・今年度のまとめと次年度の計画を運営会議へ報告するため、年度内に小部会を開催するなどを協議した。

○第 4 回多職種連携研修小部会（Web）

令和 7 年 3 月 3 日（月）～ 6 日（木）きたそらりんく利用会議

6 日（木）部会終了後 17：21～17：40 Zoom 利用会議

出席者 7 名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（１）次回研修会の内容について

- ・共催については了解
 - ・1 回の研修会でケア・カフェと兼ねるのか R6 年度と同様に研修会後にケア・カフェ実施の 2 回とするかは来年度の新メンバーで協議することとした
 - ・役割分担については、協議会と看護研修会どちらかに偏ることがないようにする
 - ・地域課題の抽出と課題を協議する部会はどこかという質問があり上の部会に伝えることとした
- などを協議した

（２）本年度事業の実績及び次年度計画

（３）今後のスケジュール（新年度）

○第 1 回情報共有・地域啓発小部会（Web）

令和 6 年 6 月 28 日（金）～7 月 4 日（木）きたそらりんく利用会議

7 月 4 日（木）部会終了後 17：23～17：42 Zoom 利用会議

出席者10名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（１）地域住民向けの研修会等メニューについて

- ・地域住民向けの研修会等メニューはデザイナーへ見積依頼済み。印刷代込み11万円で発注しラフ案ができ次第協議することとした

（２）住民フォーラムの検討状況について

- ・深川市開催日程が10月から11/17（日）に変更。終活関連の映画の上映会を予定。北空知の取り組み紹介、上映会、アンケートを実施。意見交換はしないこととした

（３）R5度事業の実績及びR6年度計画

- ・内容は前段に開催した親部会と同様

（４）今後のスケジュール

- ・小部会開催時間は前年度同様の17時30分とすることとした

○第2回情報共有・地域啓発小部会

令和6年 9月27日（金）～10月3日（木）きたそらりんく利用会議

10月 3日（木）17:30～18:27 Zoom利用会議

出席者9名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（１）在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムの開催について

- ・講演テーマは「終活と切ってもきれないお金の話」に決定
- ・チラシは深川市で別添のとおり作成
- ・開催案内は10/8発送済み（地域内108事業所）協議会委員はメール
- ・新聞折込は今回実施しない。事業等で案内し、関連事業に参加のあった企業等にも周知する
- ・ライスパワー体操のDVD上映と販売はしない（深川市は普及している地域・在庫少ない）
- ・会場準備は当日・前日とするか経済センターで机配置してくれるかで調整する
- ・駐車場の確保と誘導係が必要

（２）地域住民向けの研修会等メニューについて

- ・ラフ案は字ばかりだが、あくまで記載内容の確認であって、これからデザインをあしらい加工されていく
- ・今回デザイナーから確認を求められた内容は事務局で回答できる部分がほとんどなので、途中経過として報告するもの。今後まだ修正の余地はあるので気づいた点があれば事務局へお知らせいただくこととした

○第3回情報共有・地域啓発小部会

令和6年10月30日（水）17:30～18:02 Zoom利用会議

出席者9名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（１）在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムの開催について

- ・当日の集合時間や会場設営など具体的な作業の最終確認し、次回小部会は開催報告と評価ができ次第開催

○第4回情報共有・地域啓発小部会

令和6年11月27日（水）～12月2日（月）きたそらりんく利用会議

12月 2日（月）17:30～18:26 Zoom利用会議

出席者9名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（１）住民フォーラム職種別・市町別参加状況の振り返り・評価について

- ・目標120名の所161名（一般121人、支援関係者40人）となり盛会裏に終了

・アンケート結果からも「自分や家族の人生の最後について今から準備が必要だったと思った」「遺言書を書きしてみる」等の意見が多くフォーラムの目的は達成された ・次年度は妹背牛町開催。今回の評価を踏まえ、また、開催場所や当日の様子録画などについて今後実施内容を協議する (2) 地域住民向けの研修会等メニューについて ・講師紹介リストはデザイナーと連絡を取りあい作成中 (3) その他 ・小部会は今年度の実施内容報告などを親部会に報告するため年度内に1～2回を予定などを協議した
○第5回情報共有・地域啓発小部会 令和7年 1月29日(水)～ 2月3日(月) きたそらりんく利用会議 2月 3日(月) 17:30～17:46 Zoom利用会議 出席者 7名(小部会メンバー) ・協議・確認事項 (1) 地域住民向けの研修会等メニューについて ・いまさらだが北空知全体のチラシなのに深川市・妹背牛町以外の自治体の講師依頼が無いのは3町として良いのか。また配布先はどこになるかとの意見があり、事務局からは3町からは特に意見が無いので問題ないものとしてすすめてきている。議事録配布の際に再度各町の意見を再確認することとした。また、配布先はケア・カフェ等の案内先である管内関係機関100カ所程度と各市町地域包括窓口の予定と回答 (3) 本年度事業の実績及び次年度計画 ・今後開催予定の専門部会に向け作成中
○第6回情報共有・地域啓発小部会(市町委員チラシ対応協議) 令和7年 2月19日(水) 10:00～11:00 Zoom利用会議 出席者 6名(小部会メンバー) ・協議・確認事項 (1) 地域住民向けの研修会等メニューについて ・特定の市町に偏った講師派遣内容となっているため、作成そのものについての疑問が市町委員から出されたことから、作成を一旦中止とするか継続するかを確認 ・作成は継続することとし、講演内容の粒度を下げ1市4町で対応できるものにするものとした ・Zoomでの修正が難しいため2月26日妹背牛町役場で再度修正協議をすることとした
○第7回情報共有・地域啓発小部会(市町委員チラシ対応協議) 令和7年 2月26日(水) 17:30～19:30 妹背牛町保健センター会議室 出席者 5名(小部会メンバー) ・協議・確認事項 (1) 地域住民向けの研修会等メニューについて ・項目等を修正・追加し、再度デザイナーへ依頼することとした
○第8回情報共有・地域啓発小部会 令和7年 3月 3日(月)～ 3月 6日(木) きたそらりんく利用会議 3月 6日(月) 親部会終了後17:20～17:55 Zoom利用会議 出席者 9名(小部会メンバー) ・協議・確認事項 (1) 地域住民向けの研修会等メニューについて ・再度一部を修正しデザイナーに報告することとした (2) 本・年度事業の実績及び次年度計画

(3) 今後のスケジュール (新年度)

○第1回地域包括ケアに携わる多職種合同研修会

「ケア・カフェきたそらち～「在宅での生活の支え方を考える」」

令和6年10月10日(水) 18:00～19:03

参加者48(事前申込者49名 欠席1名)

(市町別: 深川市32名、妹背牛町3名、秩父別町0名、北竜町8名、沼田町4名、滝川市1名)

(職種別: 医師1名、薬剤師1名、看護職16名、保健師8名、介護支援専門員3名、介護福祉士4名、社会福祉士3名、ソーシャルワーカー1、相談員2名、管理者2名、管理栄養士1名、リハビリ職2名、事務職3名、その他1名)

- (1) 話題提供は、第1部を9月26日開催の北空知看護研修会において『在宅での生活の支え方を考える』をテーマとし専門職の講演と具体的なケース報告を聴講することとし、当該研修会から見えた課題・意見を第2部のケア・カフェとして10/10にグループワークで理解を深める2部構成とした
- (2) グループワーク(情報・意見交換・意見交換)
 - ・テーマ「在宅での生活の支え方を考える」
 - ・カフェ・マスター 訪問看護ステーションいしずえ管理者 疋田健氏
 - ・サブマスター オンライン開催のため配置なし

北空知看護研修会の内容

○「チームで支える在宅ケア みんなが一歩前」というテーマで、稚内訪問看護ステーション古川所長が講義。末期や認知症の事例から、最後まで自宅で過ごしたいという気持ちに寄り添う意思決定支援についての話や、利用者のために共通認識を持ちながら互いに気持ちよい連携ができるよう心がけているとの話があった

実践報告では、「訪問看護ステーションいしずえ」から本人の辛さを共感的に受け止め、利用者の思いに寄り添う支援についての報告や、保健所からは、人工呼吸機を装着して在宅療養されている方について支援者が諦めることなく、本人と妻の意向を丁寧に聞き、今ある資源で意向を叶えられる方法を探ることができたという報告があり、本人の意思決定支援や連携の重要性について考える機会となった

- ・2部構成については、グループワークをコンパクトにできる反面、第1部のテーマを思い出しながら話すという工程になり、脱線してしまいがちだった
- ・グループワークはZOOM機能(ブレイクアウトルーム)によりランダムに8グループ編成され、1グループ5～7人で行われ、疋田カフェ・マスターの進行で、「ケア・カフェ」と、グループワークでの自己紹介の内容(氏名・所属・職種・最近ハマっている事)について説明があった後にChat1が開始され、引き続きChat2、全体会へと進行された
- ・ホスト(事務局)の設定ミスでChat1が20分の予定が10分で終了してしまった
- ・実際に個々の業務の中での身寄りのない方への支援で困ったこと等、仕事や私生活上での体験など意見交換することができた

○在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラム in 深川市

～いずれはみんなに訪れる人生の最期 どう迎えたいですか? どう送りたいですか?～

令和6年11月10日(日) 10:00～12:00 深川市 経済センター 3階多目的ホール

参加者161名(深川市135名、妹背牛町8名、秩父別町5名、北竜町4名、沼田町2名、その他7名
うち一般121名、支援関係者40名)

- (1) 北空知地域の在宅医療・介護の取組紹介

「自宅で安心して暮らすために～チーム北空知の取組」

紹介者 北空知地域医療介護連携支援センター事務局長 村田 真紀 氏

「自宅で安心して暮らすために～訪問看護の取組」

紹介者 深川市立病院訪問看護ステーション「みのり」管理者 立花 洋子 氏

(2) 講演「終活と切っても切れないお金の話」

講師 司法書士法人福村事務所(大阪府大阪市) 福村 雄一 氏

(3) 意見交換「人生の最期をどう迎えたいですか? どう送りたいですか?」

- ・参加市民からは、遺言と遺留分の違いや相続を知り得ないときはどうするか、などの質問が2名からあり、福村氏からそれぞれ回答があった
- ・アンケートの結果からも人生の最後について考える機会となり、また、自身や家族の人生の最期について今から準備が必要と思った、遺言書の下書きをしてみる、などの意見が多く、フォーラムの目的は達成されたと思われる
- ・講師からは分かりやすく要点を押さえた講話があり、ときにはユーモアも交えながら終活の必要性の紹介があり、来場者からは時折笑いも起こりつつ大きく頷く姿がみられ、また、来場者数も当初目標の120人を大きく上回る数となるなど、地域住民の行動変容を促す良い機会となった。
- ・北空知の取り組み紹介に対する感想では、をプロジェクターの字が小さい、説明が早口、事例紹介は不要など、次回に向け反省・検討すべき意見があった
- ・「人生の最期をどう迎えたいですか? どう送りたいですか?」をテーマに行われた意見交換は、2名の質問のみで時間(会場借り上げ時間制限)となり意見交換までには至らなかった
- ・開催前は駐車場が満杯になることが心配され、誘導員を配置し近隣旅館の駐車場を借りたこともあってか苦情等が寄せられることはなかった
- ・当初経費面から新聞折り込みはしない予定だったが急遽実施した。参加のきっかけが「ポスター・チラシを見た」割合が3割程度で、これまで折り込みを実施した年度と変わらないことから参加者増につながったかと思われる

平成29年から開始した1市4町の持ち回りは2巡目に入り、次年度の開催について今後担当部会で検討することとしている

○第1回地域リハビリテーション活動支援事業調整会議

令和6年9月4日(水) 16:00~17:00 ZOOM 会議

出席者6名(市町地域包括支援センター担当者、事務局員)

・協議・確認事項

(1) 各事業項目別 実施件数(令和5年4月~9月)

(2) 令和6年度上半期進捗状況

- ・個別訪問、通所訪問、介護予防事業、地域ケア会議、スタッフ研修会について、実施状況や今後の対策について協議した
- ・依頼件数が年々増加傾向で推移していること、今年度から地域リハ派遣スタッフが7→5名に減少していることから、地域リハの講話準備や報告書作成等は時間外対応となっている現状を踏まえ、今後も派遣事業を継続的に遂行するため、業務内容について書類の簡素化や打合せを訪問中に実施するなど、効率的な事業実施を検討し今後実施していくこととした

○第2回地域リハビリテーション活動支援事業調整会議

令和7年3月31日() 16:00~16:45

出席者6名(市町地域包括支援センター担当者、事務局員)

・協議・確認事項

(1) 今年度事業のまとめと次年度の取組について

- ・より効果的なリハビリテーション事業実施のため報告様式の簡素化や出席会議の整理などを行ったが、各市町担当者から問題ないため対応継続について了承をいただいた
- ・次年度以降の主担当変更について報告し調整会議で意見をいただくこととした

○介護保険サービス事業所スタッフ向け研修会の開催

市町名	開催回数	主な事業所
深川市	1	みんなカフェスタッフ研修会
妹背牛町	1	グループホームべにばら妹背牛スタッフ研修会
秩父別町	0	
北竜町	2	グループホーム碧水スタッフ研修会、永楽園職員検討会
沼田町	1	グループホームなごみ碧水スタッフ研修会
合計	5	

○住民向け講演会・研修会等の開催

市町名	開催回数	主な事業所
深川市	16	開西町お結びサロン、西町すまいるサロン、男塾、くらしかる、ライパー会 西町男塾、あけぼの友の会、深まる講座、健寿OB会、生き生きクラブ、おし やれ工房、新光町サロン
妹背牛町	8	すまい・ル サロン、わかち愛もせうし、社協フィットネス、わかち愛もせ うしサロン
秩父別町	8	脳活、オレンジカフェ
北竜町	5	あさがおクラブ（碧水、和）
沼田町	14	のぞみ会サロン、旭町サロン、緑町サロン、地域医療サロンあったまーる、 高齢者元気100倍教室
合計	51	

3. 事業の進捗状況

（１）地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実
 - ⇒ 各種事業の案内周知・報告の掲載など、ホームページの更新を18回（件）行った。
- ②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討
 - （ホームページを閲覧できない高齢者等への訴求力のある媒体の検討）
 - ⇒ 各会議体委員等に情報提供として関係団体の研修等について「きたそらりんく（バイタルリン
ク）」に掲載しているが、地域住民への提供や高齢者等へ周知については具体的検討には至らなかつた。
- ③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討
 - ⇒ 関係機関・団体にホームページとのリンクを依頼しているほか、具体的検討には至らなかった。

（２）医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の開催の企画と運営
 - （参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討）
 - （意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討）
 - （連携が可能な場合は部会・小部会をまたいだ合同研修会の開催を検討する）
 - ・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討
 - ⇒ 9月に深川保健所が事務局として開催された北空知看護研修会を、Ⅰ部会における入退院支援研
修会とⅡ部会におけるケア・カフェの話題提供部分として合同開催した。
 - ⇒ 各種事業での利用がスムーズにできるよう Zoom ミーティングの有料版を継続利用し、ケア・カフ
ェ等の研修会、各会議体会議において利用した。
 - ・協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討
 - ⇒ 地域リハビリテーション活動支援事業を通じ、関係市町の介護予防事業や介護保険サービス事業
所の職員研修に作業療法士を派遣した。また、市町要望を受け、令和4年度から言語聴覚士の派遣
を開始している。

②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進

・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整・充実（派遣場所・職種拡大）

⇒ 市立病院の複数の作業療法士で市町担当を決め、派遣調整を行った。

⇒ 深川市立病院で考案した介護予防体操「ライスパワー体操」の紹介・普及を図るため、深川市と共同して作成したDVDを配布し、市民の自主的な介護予防活動の促進に努めた。

DVDは高齢者が操作しやすいように、基本編、短縮編、上級編の3枚に分け、「短縮編・基本編」と「基本編・上級編」の2種類、2枚1組にしたセット版も作成している。

⇒地域リハ事業は依頼件数が年々増加傾向で推移しており、院内のリハビリスタッフの人員配置等から、今後も派遣事業を継続的に遂行するため、業務内容について書類の簡素化や打合せを訪問中に実施するなど、効率的な事業実施に努めた

・事業者向け研修会等の実施による普及推進

⇒ 深川市、妹背牛町、北竜町、沼田町の介護事業所でスタッフ研修を実施した。

・各市町地域ケア会議での成果と課題の共有、対応等の検討

⇒ これまでの事業の成果と課題等を共有するため、関係市町の地域ケア会議や事業所の研修などで報告し事業の一層の普及推進に努めた。

（3）地域住民への普及啓発

①在宅医療や介護などについての講演会等の開催

・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催

⇒ 令和6年11月に深川市で北空知地域住民フォーラムを開催した。「終活と切っても切れないお金の話」と題し大阪から講師を招き講演を実施した。昨年で1市4町を一巡し、本年度の深川市開催から2巡目に入った。

・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施

⇒ 「地域住民向け講演会・研修会のメニュー」を検討し実際に配布・周知するため、分かりやすく訴求力のあるデザインをデザイナーに委託し作成するため内容を協議した。

⇒ 地域リハビリテーション活動の出前講座は、上記「住民向け講演会・研修会等の開催」のとおり、51カ所（件）で実施した。

②在宅医療や介護に関する住民広報の実施

・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施

⇒ 介護予防の住民啓発資料として、介護予防体操「ライスパワー体操」DVD（令和3年度増刷）、「住み慣れたまちで安心して暮らすために」（令和3年度増刷）、「困った時は地域包括支援センターへ」（令和3年度新規作成）を関係市町及び市立病院に配布し各種事業で活用している。

・在宅医療・介護に関して高齢者虐待・成年後見制度など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

⇒ 具体的な検討には至らなかった。

4. 部会構成員（令和6年4月～令和7年3月）24名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	妹背牛町健康福祉課主幹	南 美也子	情報共有・地域啓発小部会長
副部会長	北竜町住民課課長補佐・地域包括支援センター長	神 薮 早 智	多職種連携研修小部会長
副小部会長	北空知栄養士会会長	岡 本 恵	多職種連携研修小部会 エーデルワイス ↓ 第一病院管理栄養課
	秩父別町住民課主幹・地域包括支援センター長	太 田 祥 予	情報共有・地域啓発小部会
委 員	深川医師会理事	大谷内 真 弓	深川市立病院診療部
	深川医師会議長	児 島 俊 一	りふれ施設長(管理医師)
	北空知歯科医会会長	伊 東 由紀夫	伊東歯科医院院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	(選考中)	薬剤師会事務局で選考中
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	中 澤 肇 子	深川市立病院薬剤課
	北空知地域看護連携推進会議	疋 田 健	訪問看護ステーション いしずえ深川

	深川保健所企画総務課主査（保健推進）	三井 浩 明	
	深川市介護者と共に歩む会会長	北 本 清 美	
	深川市高齢者支援課地相談サービス係（保健師）	和 田 奈津美	
	深川市高齢者支援課相談サービス係（社会福祉士）	立 川 智 章	
	妹背牛町健康福祉課主査	末 岡 崇	
	北空知区域内介護事業所（秩父別町）	(選考中)	
	北空知区域内介護事業所（沼田町）	小 山 俊 朗	沼田町デイサービスセンター
	北竜町住民課地域包括推進係長	大 井 敬 太	
	沼田町保健福祉課主査	鈴 木 悠里江	
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携室副室長	赤 松 充 敏	
	深川市立病院地域連携室室長	立 花 洋 子	
	深川市立病院地域連携室地域連携室係長	尾 中 康 晴	
	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	

※部会の設置期間（令和5年度～7年度）

【多職種連携研修小部会】

神薮（小部会長）、岡本（副小部会長）、大谷内、中澤、疋田、三井、立川、末岡、（選考中）、小山、尾中、村田（11名）
運営協力員：坂本一樹（市立病院看護師）（1名）

【情報共有・地域啓発小部会】

南（小部会長）、太田（副小部会長）、児島、伊東、（選考中）、北本、和田、大井、鈴木、赤松、立花、村田（11名）

【地域リハビリテーション活動支援事業調整会議】

村田（座長）、赤松（事業担当）、野原（深川市）、末岡（妹背牛町）、太田（秩父別町）、太平（北竜町）、鈴木（沼田町）（7名）

《令和7年度事業計画》

1. 令和7年度事業計画

（1）地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実
- ②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討
（ホームページを閲覧できない高齢者等への訴求力のある媒体の検討）
- ③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討

（2）医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の開催の企画と運営
（参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討）
（意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討）
（連携が可能な場合は部会・小部会をまたいだ合同研修会の開催を検討する）
 - ・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討
 - ・協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進
 - ・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整・充実（派遣場所・職種拡大）
 - ・事業者向け研修会等の実施による普及推進

- ・各市町地域ケア会議での成果と課題の共有、対応等の検討

(3) 地域住民への普及啓発

①在宅医療や介護などについての講演会等の開催

- ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
- ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施

②在宅医療や介護に関する住民広報の実施

- ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
- ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待・成年後見制度など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

2. 部会構成員（令和7年4月～令和8年3月）24名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	妹背牛町健康福祉課主幹	末 岡 崇	情報共有・地域啓発小部会長
副部会長	北竜町こども・くらし応援課課長補佐兼地域包括支援センター次長	大 井 敬 太	多職種連携研修小部会長
副小部会長	(旧北空知栄養士会会長)		多職種連携研修小部会
	秩父別町住民課主幹・地域包括支援センター長	太 田 祥 予	情報共有・地域啓発小部会
委 員 事務局員	深川医師会理事	大谷内 真 弓	深川市立病院診療部
	深川医師会議長	児 島 俊 一	りふれ施設長(管理医師)
	北空知歯科医会会長	伊 東 由紀夫	伊東歯科医院院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	(選考中)	薬剤師会事務局で選考中
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	中 澤 肇 子	深川市立病院薬剤課
	北空知地域看護連携推進会議	疋 田 健	訪問看護ステーション いしずえ深川
	深川保健所企画総務課主査(保健推進)	六 田 一 典	
	深川市介護者と共に歩む会会長	北 本 清 美	
	深川市高齢者支援課地相談サービス係(保健師)	和 田 奈津美	
	深川市高齢者支援課相談サービス係(社会福祉士)	立 川 智 章	
	妹背牛町健康福祉課主査	河 嶋 亜希子	
	北空知区域内介護事業所(秩父別町)	(選考中)	
	北空知区域内介護事業所(沼田町)	小 山 俊 朗	沼田町デイサービス センター
	北竜町こども・くらし応援課健康推進係係長	田 中 望 美	
	沼田町保健福祉課主査	鈴 木 悠里江	
	深川市立病院地域連携室地域連携室副室長	赤 松 充 敏	
事務局員	深川市立病院地域連携室室長	立 花 洋 子	
部 会 長	深川市立病院地域連携室地域連携室係長	尾 中 康 晴	

※部会の設置期間(令和5年度～7年度)

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【多職種連携研修小部会】

大井(小部会長)、(欠員)(副小部会長)、大谷内、中澤、疋田、六田、立川、末岡、(秩父別町介護事業所:選考中)、小山、尾中 (9名)

運営協力員:坂本一樹(市立病院看護師) (1名)

【情報共有・地域啓発小部会】

末岡(小部会長)、太田(副小部会長)、児島、伊東、(薬剤師会:選考中)、北本、和田、田中、鈴木、赤松、立花 (10名)

【地域リハビリテーション活動支援事業調整会議】

赤松（座長・事業担当）、野原（深川市）、渡邊（妹背牛町）、太田（秩父別町）、
内田（北竜町）、鈴木（沼田町）

（6名）

3. 年間スケジュール

年月日	項 目	内 容
5 月 日	正副座長・部会長等会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和7年度事業計画の協議・調整（事業の実施時期調整）
6 月 日	第1回運営会議	部会長→部会の議案説明
6（7）月 日	第1回協議会議	部会の議案説明

（多職種連携・地域啓発部会）

年月日	項 目	内 容
6 月 日	第1回部会	令和7年度事業計画及び運営体制（小部会）の協議
2 月 日	第2回部会	令和7年度事業のまとめと次年度の取組の協議

（多職種連携研修小部会）

年月日	項 目	内 容
月 日	第1回小部会	多職種合同研修会の企画ほか
月 日	第2回小部会	第1回多職種合同研修会（北空知看護研修会と合同開催）の開催準備協議
夏～秋	多職種合同研修会（1部）	テーマ「地域で考えるACP（仮）」
夏～秋	多職種合同研修会（2部）	ケア・カフェ
月 日	第3回小部会	第1回多職種合同研修会の振り返り・評価
1月まで終了	第4回小部会	今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

（情報共有・地域啓発小部会）

年月日	項 目	内 容
月 日	第1回小部会	住民向け講演会・研修会のメニューづくり、地域啓発事業の企画協議、ホームページ見直しほか 地域住民フォーラムの開催準備協議
月 日	第2回小部会	地域住民フォーラムの開催準備協議
月 日	第3回小部会	地域住民フォーラムの開催準備協議 月上旬に開催案内 （市町広報 月末原稿提出、 月号掲載）
月 日	北空知地域住民フォーラム	妹背牛町で開催
月 日	第4回小部会	地域住民フォーラムの振り返り・評価ほか
1月まで終了	第5回小部会	今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

※北空知地域住民フォーラムは、令和7年度に妹背牛町で開催予定とし、以降3町で順次開催する。

（地域リハビリテーション活動支援事業調整会議）

年月日	項 目	内 容
8 月 日	第1回調整会議	今年度事業の中間評価と後半に向けての協議
2 月 日	第2回調整会議	今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

令和6度 北空知地域医療介護連携支援センター事業(地域医療・介護連携推進事業) 決算(案)

収入

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
委託料	9,594,000	9,594,000	0	各市町負担金口 深川市 4,135,013円 妹背牛町 1,437,421円 秩父別町 1,332,607円 北竜町 1,244,102円 沼田町 1,444,857円 計 9,594,000円
合 計	9,594,000	9,594,000	0	

支出

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
人件費	7,944,000	7,944,000	0	北空知地域医療介護連携支援センター業務に係る人件費 7,221,139円(市立病院正規看護職員平均給与費)×1.1人区=7,944,000円
連絡車両維持費	133,000	269,131	136,131	連絡車両事故時レンタル料金 87,500円/台/8か月×1.1×1/3(車両利用割合)≒256,664円(R6.8~R7.3) 年間車両レンタル料 34,000円/台/1か月×1.1×1/3(車両利用割合)≒12,467円(R7.3~)
事業費	600,000	461,928	△ 138,072	北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議、プロジェクトチーム 医療介護相談・在宅生活支援部会 多職種連携・地域啓発部会 オンライン多職種合同研修会開催経費 39,466円 ホームページ更新・管理経費 71,500円 住民フォーラム 242,663円 入退院支援・調整ルール 108,299円 ※事務室やパソコン等の備品等使用料は含んでいません。
事務費	460,000	446,053	△ 13,947	きたそらりんく導入運営経費 59,400円 コピー機賃借及び使用料 283,627円 介護新聞購読料 19,800円 消耗品・消耗備品 19,250円 郵送料 16,744円 連絡車両燃料費・保険料 47,232円 事務費計 446,053円
一般管理費	457,000	472,888	15,888	(人件費+連絡車両維持費+事業費+事務費)9,121,112円×10%=912,111円>472,888円【5.18%】 当初予算5%(参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	0	0	0	包括的支援事業非課税告示(消費税法施行令第14条の3第5号の規定に基づき厚生労働大臣が指定する資産の譲渡等の一部を改正する件(平成27年厚生労働省告示第232号))により非課税
合 計	9,594,000	9,594,000	0	

令和6年度 地域リハビリテーション活動支援事業決算(案)

収入

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
委託料	9,293,900	9,293,900	0	各市町負担金 深川市 5,293,806円 妹背牛町 1,112,665円 秩父別町 950,208円 北竜町 813,031円 沼田町 1,124,190円 計 9,293,900円
雑入	0	200	200	ライスパワー体操DVD販売収入(200円×1セット=200円)
合 計	9,293,900	9,294,100	200	

支出

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
人件費	7,313,000	7,313,000	0	北空知地域リハビリテーション活動支援事業に係る人件費(令和2年度から複数で担当) 8,124,886円(事業従事割合による作業療法士給与費)×0.9人区≒7,313,000円
連絡車両維持費	383,000	382,800	△ 200	年間車両レンタル料 382,800円(イグニス)
事務費	350,000	236,162	△ 113,838	きたそらりんく導入運営経費 19,800円 コピー機賃借及び使用料 27,918円 消耗品・消耗備品 85,078円 連絡車両燃料費・保険料 103,366円 ※事務室やパソコン等の備品等使用料は含んでいません。 事務費計 236,162円
一般管理費	403,000	517,220	114,220	(人件費+連絡車両維持費+事務費)7,931,962円×10%=793,196円>517,220円【6.52%】 当初予算5%(参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	844,900	844,918	18	消費税(10%)8,449,182円×10%=844,918円
合 計	9,293,900	9,294,100	200	

令和7年度 北空知地域医療介護連携支援センター事業(地域医療・介護連携推進事業) 予算(案)

収入

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
委託料	9,594,000	9,352,600	△ 241,400	各市町負担金 深川市 4,031,439円 妹背牛町 1,397,979円 秩父別町 1,299,778円 北竜町 1,212,097円 沼田町 1,411,307円 計 9,352,600円
合 計	9,594,000	9,352,600	△ 241,400	

支出

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
人件費	7,944,000	7,948,000	4,000	北空知地域医療介護連携支援センター業務に係る人件費 7,225,154円（市立病院正規看護職員平均給与費）×1.1人区＝7,947,669円
連絡車両維持費	133,000	△ 101,400	△ 234,400	年間車両レンタル料1台 34,000円/月×12カ月×1.1×1/3(車両利用割合)＝149,600円 R6リース予算264,000-R6実経費控除12,467＝△251,000
事業費	600,000	600,000	0	北空知地域医療介護確保推進協議会 協議会各会議体の開催経費、事業案内経費 運営会議 講演会・研修会等の講師謝礼・会場使用料・資料作成費など Ⅰ 医療介護相談・在宅生活支援部会 パンフレット作成経費 Ⅱ 多職種連携・地域啓発部会 ホームページ作成・更新・管理経費など
事務費	460,000	460,000	0	事務費（固定）460,000円 旅費・参考図書・消耗品費・燃料費・光熱水費・印刷製本費・通信運搬費・使用料及び賃借料・負担金など
一般管理費	457,000	446,000	△ 11,000	当初予算（人件費＋連絡車両維持費＋事業費＋事務費）8,906,600円×5%＝445,330円 （参考：総務省が示す一般管理費上限額は10%）
消費税	0	0	0	包括的支援事業非課税告示（消費税法施行令第14 条の3 第5号の規定に基づき厚生労働大臣が指定する資産の譲渡等の一部を改正する件（平成27 年厚生労働省告示第232 号））により非課税
合 計	9,594,000	9,352,600	△ 241,400	

令和7年度 地域リハビリテーション活動支援事業 予算(案)

収入

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
委託料	9,293,900	9,361,000	67,100	各市町負担金 深川市 5,332,774円 妹背牛町 1,115,457円 秩父別町 958,192円 北竜町 817,777円 沼田町 1,136,800円 計 9,361,000円
合 計	9,293,900	9,361,000	67,100	

支出

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
人件費	7,313,000	7,443,000	130,000	北空知地域リハビリテーション活動支援事業に係る人件費（令和2年度から複数で担当） 8,268,963円（事業従事割合による作業療法士給与費）×0.9人区＝7,442,067円
連絡車両維持費	383,000	311,000	△ 72,000	年間車両レンタル料＋タイヤ経費 29,000×1.1×5ヶ月＝159,500円／1台（イグニス）＝160,000円 リースアップ時買上料 151,000円
事務費	350,000	350,000	0	事務費（定額）350,000円 旅費・参考図書・消耗品費・燃料費・光熱水費・印刷製本費・通信運搬費・使用料及び賃借料・負担金など
一般管理費	403,000	406,000	3,000	当初予算（人件費＋連絡車両維持費＋事業費＋事務費）8,104,000円×5%＝406,000円 （参考：総務省が示す一般管理費上限額は10%）
消費税	844,900	851,000	6,100	消費税（10%）8,510,000円×10%＝851,000円
合 計	9,293,900	9,361,000	67,100	

令和6年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧

年月日	年月日(終期)	会議・行事等	場所
R06.04.16		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R06.04.22		北竜町地域ケア会議	北竜町
R06.04.25		深川市地域ケア会議	深川市
R06.05.02	R06.05.08	第1回正副座長・部会長等会議(きたそらりんく)	Web上
R06.05.08		第1回正副座長・部会長等会議(ZOOM)	Web上
R06.05.09		深川市地域ケア会議	深川市
R06.05.16		秩父別町地域ケア会議	秩父別町
R06.05.21		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R06.05.23		深川市地域ケア会議	深川市
R06.05.27		北竜町地域ケア会議	北竜町
R06.05.28	R06.05.31	第1回運営会議(きたそらりんく)	Web上
R06.05.31		第1回運営会議(ZOOM)	Web上
R06.06.18		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R06.06.20		深川市地域ケア会議	深川市
R06.06.24		北竜町地域ケア会議	北竜町
R06.06.24	R06.06.27	第1回 医療介護相談・在宅生活支援部会(きたそらりんく)	Web上
R06.06.27		第1回 医療介護相談・在宅生活支援部会(ZOOM)	Web上
R06.06.24	R06.06.27	第1回 医療介護相談支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R06.06.27		第1回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上
R06.06.24	R06.06.27	第1回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R06.06.27		第1回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上
R06.06.28	R06.07.04	第1回 多職種連携・地域啓発部会(きたそらりんく)	Web上
R06.06.28		北空知成年後見相談センター運営協議会	深川市
R06.07.04		第1回 多職種連携・地域啓発部会(ZOOM)	Web上
R06.06.28	R06.07.04	第1回 情報共有・地域啓発小部会(きたそらりんく)	Web上
R06.07.04		第1回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上
R06.06.28	R06.07.04	第1回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上
R06.07.04		第1回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上
R06.07.01		北空知地域医療介護確保推進協議会	深川市
R06.07.11		深川市地域ケア会議	深川市
R06.07.16		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R06.07.25		深川市地域ケア会議	深川市
R06.07.29		北竜町地域ケア会議	北竜町
R06.08.20		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R06.08.22		深川市地域ケア会議	深川市
R06.08.26		北竜町地域ケア会議	北竜町
R06.08.26	R06.08.28	第2回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上
R06.08.28		第2回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上
R06.09.04		第1回 地域リハビリテーション活動支援事業調整会議	Web上
R06.09.12		深川市地域ケア会議	深川市
R06.09.17		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R06.09.19		医療介護連携会議(みんソラ)	深川市
R06.09.19		秩父別町地域ケア会議	秩父別町
R06.09.26		北空知地域入退院支援研修会(103名)	Web上
R06.09.26		深川市地域ケア会議	深川市
R06.09.27	R06.10.02	第2回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上

令和6年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧

年月日	年月日(終期)	会議・行事等	場所
R06.10.02		第2回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上
R06.09.27	R06.10.03	第2回 情報共有・地域啓発小部会(きたそらりんく)	Web上
R06.10.03		第2回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上
R06.09.30		北竜町地域ケア会議	北竜町
R06.10.03		第3回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上
R06.10.04		第3回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上
R06.10.10		地域包括ケアに携わる多職種合同研修会「ケア・カフェきたそらち」(48名)	Web上
R06.11.08	R06.11.13	第3回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上
R06.11.13		第3回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上
R06.12.02	R06.10.04	第3回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R06.10.15		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R06.10.22	R06.10.28	第2回運営会議(きたそらりんく)	Web上
R06.10.24		深川市地域ケア会議	深川市
R06.10.28		第1回地域医療・介護担当課長等会議	Web上
R06.10.28		第2回運営会議(ZOOM)	Web上
R06.10.28		北竜町地域ケア会議	北竜町
R06.11.08	R06.11.12	第2回 医療介護相談支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R06.11.12		第2回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上
R06.11.10		在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin沼田(97名)	北竜町
R06.11.14		秩父別町地域ケア会議	秩父別町
R06.11.18		旭川医療センター「地域医療連携の集い」	旭川市
R06.11.19		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R06.11.21		深川市地域ケア会議	深川市
R06.11.25		北竜町地域ケア会議	北竜町
R06.11.25		旭川厚生病院第10回地域医療連携の集い	旭川市
R06.11.27	R06.12.02	第4回 情報共有・地域啓発小部会(きたそらりんく)	Web上
R06.12.02		第4回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上
R06.12.17		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R06.12.19		深川市地域ケア会議	深川市
R06.12.20		深川市高齢者虐待防止ネットワーク会議・深川市SOSネットワーク連絡会議	深川市
R06.12.23		北竜町地域ケア会議	北竜町
R07.01.16		秩父別町地域ケア会議	秩父別町
R07.01.21		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R07.01.22	R07.01.24	第4回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R07.01.24		第4回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上
R07.01.27		北竜町地域ケア会議	北竜町
R07.01.29	R07.02.03	第5回 情報共有・地域啓発小部会(きたそらりんく)	Web上
R07.02.03		第5回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上
R07.02.04		認知症スキルアップ研修会(51名)	深川市
R07.02.06		深川市地域ケア会議	深川市
R07.02.06		北空知成年後見相談センター運営協議会	深川市
R07.02.07		北海道介護福祉学校自治体包括連携協定協議	深川市
R07.02.17		北竜町地域ケア会議	北竜町
R07.02.18		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R07.02.19		第6回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上

令和6年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧

年月日	年月日(終期)	会議・行事等	場所
R07.02.20		深川市地域ケア会議	深川市
R07.02.25		医療介護連携会議(みんなカフェ)	深川市
R07.02.26		第7回 情報共有・地域啓発小部会	妹背牛町
R07.03.03	R07.03.06	第2回 多職種連携・地域啓発部会(きたそらりんく)	Web上
R07.03.06		第2回 多職種連携・地域啓発部会(ZOOM)	Web上
R07.03.03	R07.03.06	第4回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上
R07.03.06		第4回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上
R07.03.03	R07.03.06	第8回 情報共有・地域啓発小部会(きたそらりんく)	Web上
R07.03.06		第8回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上
R07.03.06		深川市地域ケア会議	深川市
R07.03.06	R07.03.10	第2回 医療介護相談・在宅生活支援部会(きたそらりんく)	Web上
R07.03.10		第2回 医療介護相談・在宅生活支援部会(ZOOM)	Web上
R07.03.06	R07.03.10	第5回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R07.03.10		第5回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上
R07.03.07	R07.03.11	第2回正副座長・部会長等会議(きたそらりんく)	Web上
R07.03.07	R07.03.10	第3回 医療介護相談支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R07.03.10		第3回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上
R07.03.11		第2回正副座長・部会長等会議(ZOOM)	Web上
R07.03.13		医療介護連携会議(みんなソラ)	深川市
R07.03.18		深川市地域ケア会議	深川市
R07.03.18		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R07.03.19		秩父別町地域ケア会議	秩父別町
R07.03.21	R07.03.26	第3回運営会議(きたそらりんく)	Web上
R07.03.24		北竜町地域ケア会議	北竜町
R07.03.26		第3回運営会議(ZOOM)	Web上
R07.03.31		第2回 地域リハビリテーション活動支援事業調整会議	Web上